

議決権行使レポート

証券コード 9052

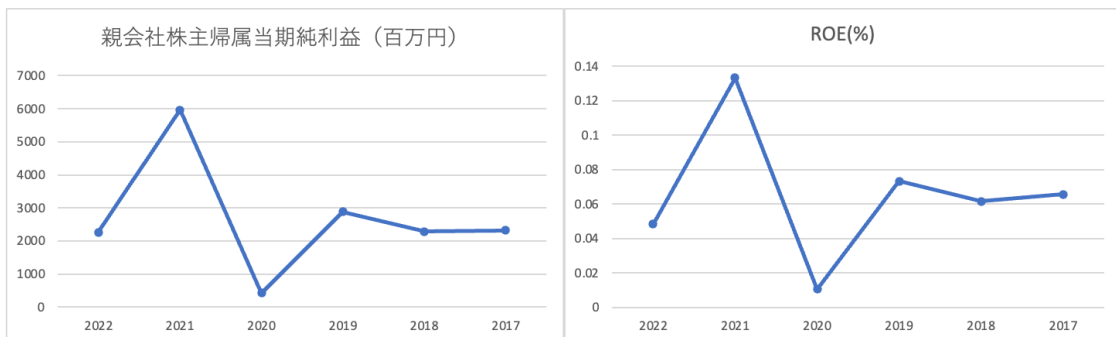
会社名山陽電気鉄道株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案：剰余金の配当	○		
第2号議案：取締役選任			
上門 一裕 氏	○		
中野 隆 氏	○		
米田 真一 氏	○		
増田 隆治 氏	○		
伊藤 正博 氏	○		
川久保 文照 氏	○		
長尾 真 氏	○		
佐藤 陽子 氏	○		
秦 雅夫 氏	○		

【上記の推奨をした理由】

第1号議案:剰余金の処分の件

山陽電気鉄道株式会社(以下山陽鉄道)の配当性向は29.6%であり、ISS基準の15%[1]を上回っているため、配当基準は適正であるといえる。よって本議案に賛成する。2021年に当期純利益が急増しているが、これは事業用不動産売却に伴う特別利益計上のためである。2022年には当期純利益、ROEともにほぼコロナ禍以前の状況まで改善し、1株あたりの配当額も回復している。



図表：過去6年の親会社帰属当期純利益及びROE

(年度)	2022	2021	2020	2019	2018	2017
中間	15	15	0	15	12.5	
期末	15	15	15	15	15	
年間	30	30	15	30	27.5	25

図表一株あたりの配当金

ただし山陽鉄道は2017年10月1日に株式併合を行っていたため、2017年度の1株当たり配当金については、株式併合後の基準で換算した25円としている。

第2号議案:取締役9名選任の件

社内取締役の上門氏、中野氏、米田氏、増田氏、伊藤氏、川久保氏の就任については問題ないと考えられる。また独立とされる3人の社外取締役の独立性にも問題がないと考えられるため、反対する理由はない。社外取締役も全体の3分の1を占めており、女性の取締役も1人いるのでこれらにも問題がないと考えられる。

【参考文献】

[1]ISS「2023年版 日本向け議決権行使助言基準」

(<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>)

[2]山陽電気鉄道会社 IR 情報

(<https://www.sanyo-railway.co.jp/company/index.html#ir>)